# 学 校 だ よ り

〈令和８年　５月２９日発行〉

【 学校教育目標 】
○　自分で考え　行動する子
◎　心豊かで　思いやりのある子
○　体をきたえ　元気な子

コミュニティ・スクール「家庭・地域とともに歩む教育活動の推進」



明治３年３月３日創立

立川市立第一小学校

校　長　　菊池　修

〒190-0023 立川市柴崎町２丁目 20 番３号
TEL　042－523－4428
　　042－522－2114（あおぞら学級）
FAX　042－529－0840
URL　https://www.tachikawa-edu.jp/es01/


## 体育の学習

校長　菊池　修

第一小学校の教育目標の一つに「体をきたえ元気な子」があります。自分で考え、自分の方法で課題を解決していく力を身に付け、将来社会で活躍していくためには、体の健康と心の健康が必要です。また、生涯にわたって運動に親しむ態度を養うことも求められています。小学校では、体育の授業と体育的な行事などの活動を中心に運動に親しむ態度を養うことになります。体育科の授業づくりは他の教科の指導力向上にも大きくつながると考えています。体育科には 3 年生以上の保健領域には教科書がありますが、他の運動領域についての教科書はありません。保護者の皆様が小学生のころ、体育の教科書のようなものがあったという方がいらっしゃると思いますが、それは副読本といって教科書とは異なり資料的なものでした。

教科書がないので、体育の授業づくりは学習指導要領を参考に自分たちで学習の流れを作っていく必要があります。時間配分、運動量、安全面の配慮、規律面、学習活動の場づくり等多岐にわたって考えていくことがあります。特に体育の授業は他の教科に比べてけがの心配が多い授業でもあります。場や活動において安全面の配慮は欠かせません。

体育科には学習する領域があります。「体つくり運動」「器械運動」「陸上運動」「水泳運動」「ボール運動」「表現運動」「保健」です。学習指導要領では２学年ごとに学習する内容がまとめられています。ですから、器械運動の高学年の内容は、５年生・６年生の２学年にわたって学習する内容ということになります。

また、学年ごとにおさえるべき内容も異なります。低学年（１・２年生）では、いろいろな動きを経験することがおさえるべき内容です。例えば「走る」という動きをいろいろ経験します。まっすぐ走る、ジグザクに走る、くねくね走る、ぐるっと回るように走るなど「走る」だけでもいろいろな動きがあります。もちろん速く走ることも大事ですが、低学年のうちにいろいろな走りを経験することで、上の学年になった時にバスケットボールや、サッカーの学習の中でもいろいろな走りが役に立ってくるわけです。

さらに体育の授業で大事なのは、技能面だけではありません。体育の学習で身に付ける資質能力として「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力、人間性」という３つが挙げられています。体育というと技能が高い人が体育が得意な人と捉えられがちですが、運動することは苦手でも作戦を考えたり、話し合いでいい意見を出したりすることができる子もいます。また、応援することが上手な子や準備後片付けをとても丁寧に行うことができる子もいます。体育の学習では、それらの観点でも見取っていきます。運動することが苦手でも、体育の授業が好きという子が増えていけば、生涯スポーツに関心を持つことができる子も増えていくと考えます。

運動が得意で体育の授業が好きな子はもちろん増えてほしいですが、運動が苦手でも体育の授業が好きという子も増えていくように体育の授業づくり工夫してまいります。